

令和 5 年度 第 4 回

逗子市子ども・子育て会議
会議録

令和 5 年12月 6 日開催

令和5年度 第4回 逗子市子ども・子育て会議 会議録

1 日 時 令和5年12月6日（水）午後2時30分から午後3時30分まで

2 開催場所 逗子市役所5階 第3会議室

3 出席者

（1） 委員（名簿順）

豊田委員、横山委員、市川（悟）委員、渡部委員、市川（由）委員

渡邊委員、横地委員、寶川委員、山岡委員、小野委員 以上10名

（2） 事務局

福井教育部担当部長（子育て支援担当）（教育部次長（子育て支援担当）事務取扱）

子育て支援課（伊藤課長、中川担当課長（青少年育成担当）、鈴木係長、稲垣主事）

保育課（市川課長）

4 欠席者 清水委員、小関委員、森委員、新納委員、

5 同席者 ランドブレイン株式会社（逗子市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の実施及び集計分析業務受託業者）：伊藤都市政策グループ担当チーム長 鈴木地域経営チーム主任

6 開催形態 公開（傍聴者1名あり）

7 議 題

- (1) 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案について
- (2) その他

8 配布資料

次第・席次表・委員名簿

資料1 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案
(未就学児調査)

資料2 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案(小学生調査)

資料3 子どもの生活実態に関するアンケート調査のお願い(中学生、高校生調査)

資料4 サービス提供事業者等 現況・意向調査

資料5 委員からの質問・意見に対する対応案

令和5年度 第3回逗子市子ども・子育て会議 会議録(案)

逗子市体験学習施設利活用及び管理運営手法調査検討業務委託仕様書

9 議事概要

開会

- ◆ 委員10名が出席。「逗子市子ども・子育て会議条例」第5条第2項の規定に基づき、会議が成立していることを報告。
- ◆ 同条例第5条第1項の規定に基づき、会長を議長とする。
- ◆ 傍聴者1名途中入場。
- ◆ 会議録署名委員 会長、8番渡邊委員、13番山岡委員

議題（１）子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案について

【寶川議長】

事務局より説明願う。

【事務局（鈴木係長）】

前回の第３回の会議では、アンケート案をお配りし、その内容についてご意見をいただいた。その意見を反映し、見え消しにて修正したものを今回の資料１～４として配付した。修正箇所は事務局で修正した方が望ましいとしたところも含む。また、資料５は前回の会議で委員の皆様からいただいた意見をまとめたものになる。

《「資料５ 委員からの質問・意見に対する対応案 対応事項１～４」の説明（説明省略）》

【寶川議長】

事務局より、資料５の対応事項１～４について説明があった。何かご意見等あるか。

【横地委員】

対応事項１について、中高生調査には前向きな設問を入れたが、未就学児と小学生の調査に入れなかったのはなぜか。

【事務局（鈴木係長）】

未就学児と小学生の調査にも追加する。

【横地委員】

自慢したいことや逗子市に関係なく子育てして良かった点等も聞けたら面白いと思う。逗子市民の生の声があると今後スローガンを作る時等にも生かせるのではないか。対応事項２では、逗子市の子育て支援における方針の記載はまだとあるが、今言える範囲で教えて欲しい。

【事務局（鈴木係長）】

来年度このアンケートをもとに、逗子市子ども・子育て支援事業計画を作成する予定になっているが、そうした趣旨を伝える。前回の計画策定時と比較し、小児医療費の年齢拡大及び所得制限の撤廃をはじめ、子育てしやすいまちになるよう少しずつ施策を新たに展開しているところであるため、その辺りを示していきたい。

【事務局（伊藤課長）】

現在、本市としては“子育てするなら逗子”というスローガンを挙げている。国としても、子ども家庭庁ができ、子ども真ん中宣言を謳って全国的に子育てに力を入れていく流れになっているため、そういったことを踏まえていきたい。

【横地委員】

“子育てするなら逗子”というが東京都の高校無償化等、他自治体の方が良く見える。自然の豊かさをアピールすることが多いが、海や山は他にもあるので、何か差別化できるものがあると良いと思う。１８歳まで逗子にいて良かったというのがアンケートの中から吸い上げられると嬉しい。

【事務局（伊藤課長）】

鑑文はあまり長く書けないため、逗子らしい設問を入れられるよう、最終調整したい。

【渡部委員】

私は医療的ケア児の母だが、地域の小学校に看護師さんが配置されていて、誰でも通える環境が整っているのは嬉しい。県内でも珍しく、逗子自慢の1つである。

【事務局（鈴木係長）】

《「資料5 委員からの質問・意見に対する対応案 対応事項5～7」の説明（説明省略）》

【寶川議長】

事務局より、資料5の対応事項5～7について説明があった。何かご意見等あるか。

【渡部委員】

対応事項7のLINEでの周知は具体的にどのようなものか。

【事務局（鈴木係長）】

市公式のLINEアカウントがあり、子育て中の方も登録しているので、そういった方に案内することも検討している。

【渡部委員】

どのくらいの人が登録しているのか。

【事務局（中川担当課長）】

現在16,538人が登録している。

【事務局（福井担当部長）】

元々は新型コロナにおける予防接種の予約用にアカウントを設けた。今後はこのような情報発信に使っていきたいと考えている。

【横山委員】

未就学児のアンケートは所要時間20分程度と書いてあるが、文章量が多く感じる。前回の議事録にも5年前のアンケート時は回答率が半分程度であったと記載があった。そういった状況で対応事項6に一覧を添付するとあるが、アンケートやった後にこの表を見るか疑問である。掲載するのであれば、対象年齢ごとにする等の見やすさや分かりやすさが欲しい。

【事務局（伊藤課長）】

一覧表を添付している目的としては、アンケートを回答するにあたって、施設や制度を理解していただくためである。表としての分かりやすさ、使ってみたいと思わせる資料としてどこまでできるか分からないが、工夫したいと思う。

【横山委員】

こういう施設や制度があるという説明の資料だと思っていた。

【事務局（福井担当部長）】

サービスの一覧であれば分類した方が分かりやすいのはおっしゃるとおりだと思う。

【小野委員】

用語の説明であれば、あいうえお順の方が見やすいと思う。

【市川委員】

目次があれば分かりやすいと思う。また、別冊にしてアンケートが終わっても使ってもらえるような生かし方ができたら良いのではないか。

【豊田委員】

一覧に体験学習施設スマイルの記載がありスポーツルームについて書いてあるが、スポーツルームには親子タイムがあり、使用できず諦めて帰ったことが何度もあった。また、土日に行った時も小学生の息子と下の子の年齢が離れていて一緒に入れなかった。システムが良く分からなかったので親子タイムがある旨を書いてもらったり、パンフレットを入れていただいたりすると助かると思う。

【事務局（中川担当課長）】

一覧表についてはアンケートに回答するための補足の資料ではあるため、大まかな説明になっている。親子タイムがある等の案内は、ホームページ等別の形で行いたいと思う。話を伺い、利用方法の周知が不足していると感じたため、何らかの形で行うよう考えていきたい。

【事務局（福井担当部長）】

未就学児と小学生で同じ説明になっているため、内容を変えて記載したいと思う。

【事務局（鈴木係長）】

《「資料5 委員からの質問・意見に対する対応案 対応事項8～12」の説明（説明省略）》

【市川委員】

高校生アンケートは、逗子葉山高校に通学している生徒を対象にしようとしていたが、市内在住の高校生相当の年齢の人に個別発送をするという意味で良いか。

【事務局（鈴木係長）】

そのとおりである。

【渡邊委員】

資料3の3ページにある自治体の取組み紹介の記載があるが、こちら QRコードがあるとよいと思う。また、子育て事業の紹介の話が出ているが、配布されている子育て情報誌をホームページに載せて、QRなどでいつでも見られるようにすると良いのではないか。

【事務局（鈴木係長）】

子育て情報誌については、転入者等に対して紙媒体で配布しているが、ホームページ上でも見られるようになっている。この機会にホームページに掲載してというのをお知らせしても良いかと思う。

【渡部委員】

対応事項9に記載があるがルビを振るのは難しいか。漢字が読めない方もおり、全体的にルビを振ってある媒体を見たことあるので、技術的には可能かと思う。

【事務局（鈴木係長）】

Googleのアンケート機能を使用する予定でいるが、ルビ機能が乏しいため難しい。

【渡部委員】

今後こういったアンケートをする際には、ルビを振れるものを選択肢に入れていただければと思う。

【横地委員】

目の見えない方のために読み上げ機能を使うのはどうか。また、「こども大綱」では、子どもを真ん中にする社会にしようとしているが、鑑文にそのことが全く入っていない。国全体でやろうとしていることを PR した方が良いのではないか。もう一つ、小学校調査は4年生までを対象としており、5・6年生は受験等で忙しくなるため対象から外したと記憶しているが、小学校高学年になってやっと自分で物事が言えるようになるので、中高生アンケートを5・6年生まで広げるのはいかがか。最後に、このような会議に子どもの代表が参加する市町村もある。この先、子どもがこの会議に参加することもあるのか。

【事務局（鈴木係長）】

アンケート対象として小学校5・6年生を除いている理由としては、以前受験を控えているためであると説明した。しかし、この調査の主旨として教育と保育のサービスの量を図る目的があり、放課後児童クラブの量を図るにあたって放課後児童クラブは4年生までを対象にしているので、本アンケートも同様の学年までを対象にしている、と訂正させていただきたい。また、こういった場に子どもが参加することは考えていなかったが、子どもから直接意見を聞く機会を作るよう国からも要請されているので、どのような方法がいいか考えていきたい。

【小野委員】

中高生のアンケートに5・6年生を入れるにあたっては、調査の目的に合っているのであれば入れても良いのではと思う。中高生の調査に入れるのも良いが、小学生の調査の方に入れて齟齬がないのであればそちらに入れるのも一つかと思う。

【市川委員】

理想論は十分に理解でき、アンケート調査をいいものにしていこうというのはもちろんであるが、進めていかなければならないこの時期に急にどんどん範囲を広げていくと、時間がかかってしまうと感じている。今のご意見を事務局が受け取り、今後のアンケートに反映してもらおうといいのではないか。

【事務局（福井担当部長）】

学年を聞いている所があるので、1～4年生を抽出できるのであれば、5・6年生にも同じ形で回答してもらっても良いのではないかとと思う。

【事務局（鈴木係長）】

紙で配布し紙で回収することが今の時代に沿っているのか。中高校生アンケートをインターネットで行うなら、未就学や小学生のアンケートもインターネット上の回答の方が今の時代に合っているのではと考えている。その場合でも、紙で欲しい方には個別に配布する対応を考えている。

【小野委員】

インターネット上での回答もいいと思うが、同じ人が2回以上回答できないようにすることや途中で保存ができることが重要だと思う。小さい子がいる方は途中でやめることができるありがたいと思う。

【事務局（鈴木係長）】

一時保存等の機能面は確認する。

【渡邊委員】

途中保存や繰り返し回答できないのであればよいと思う。紙だと明るい部屋で時間を確保しなければ回答できないが、携帯であればいつでも回答できるのはよい。

【横山委員】

インターネットで20分掛けて回答するということは長く感じるが、設問は全て必要になるのか。

【事務局（伊藤課長）】

設問内容は全て国から求められているものであるため、必要となる。

【横山委員】

あとどのくらいで終わるという目安があってもよいと思う。

【豊田委員】

QRコードを読み取っての回答を基本とする場合、対応事項8にも記載されている携帯を持っていない人への対応はどうするのか。

【事務局（鈴木係長）】

紙が必要な方にはご連絡をいただき、改めて郵送する方法を取りたいと思う。

【豊田委員】

自分で市役所に電話するということか。

【事務局（鈴木係長）】

そのとおりである。また、メールアドレスも載せるのでメール等の対応も行い、窓口でもお渡しできるようにしたい。

【事務局（福井担当部長）】

郵送でも窓口でも紙での回答を希望する方には、アンケート用紙だけでなく返信用封筒も一緒にお渡ししたい。

【事務局（鈴木係長）】

紙ではなくインターネット上で回答する方法については、大きな反対はなかったのでこの方向で進めて行きたいと思う。

議題（２）その他

【事務局（中川担当課長）】

《「逗子市体験学習施設利活用及び管理運営手法調査検討業務委託仕様書」の説明（説明省略）》

【市川委員】

これは案か、それとも既にこれで進めている内容の報告か。

【事務局（中川担当課長）】

スケジュールの部分は案であるが、仕様書についてはこれで進めている。実際の業務委託にあたっての内容についてはこれから調整するため、意見を反映することは可能である。本件について、何か質問や意見等あれば直接体験学習施設スマイルまで、ご連絡いただきたい。

【寶川会長】

他にないようであれば、これで本日の予定の議題は全て終了する。

閉会 以上により議事を終了し、令和５年度第４回逗子市子ども・子育て会議を閉会した。

10 署名

議事の経過及び結果を明確にするためこの会議録を作成し、会長及び議事録署名人は次に署名する。

会長

会議録署名人

会議録署名人
